

# ペットを飼っているみなさまへ 災害時、大事なペットを守るために



災害時に、ペットを守れるのは飼い主さんだけです。ご自身の安全はもちろん、飼っているペットも一緒に避難する「同行避難」が必要です。

ペットと一緒に避難しないとペットの負傷や衰弱死、放浪による人への危害につながる恐れがあります。

また、避難所は、多くの人が避難をしてくることから、動物と人、動物同士のトラブルに発展する場合があるため、普段からペットと同行避難できるよう準備をしておきましょう。

## 東日本大震災でのペットのトラブル事例

犬の鳴き声や臭いなどの苦情が最も多く、その他、「避難所で犬が放し飼いにされている」「ノミが発生した」など、飼い主による適正な飼育がおこなわれていないことによるトラブルが多く見られたそうです。

また、アレルギー体質の方がいることから、避難所内で人と同じスペースで飼育することが難しいなどの報告があるほか、「自分のペットへの過度の要望を通そうとする避難者がいた」など、飼育マナーに関する意見も報告されました。

同行避難とは、避難所までの避難行動（行為）のことをいいます。

避難所で、ペットと人が同じスペースで過ごすことなどの、同伴避難を指すものではありません。

なお、富里市では原則として、ペットを避難所（建物内）へ入れることはできません。

また、ペットの飼養は所有者の自己責任となります。

- 鑑札・狂犬病予防注射済票の取付  
マイクロチップの取付
- 飼い主の情報や連絡先を記録した  
迷子札の取付



- 不妊・去勢手術の実施
- 狂犬病予防接種や  
各種ワクチンの接種
- 寄生虫の予防・駆除



- しつけ（無駄吠え・人や他の動物  
を怖がらないなど）をしておく
- 決まった場所でトイレができる  
ようにトレーニングしておく
- ゲージや動物用キャリーバック  
の出入り訓練



- 最寄りの避難所の場所と避難  
ルートの確認。



- その他の避難先の確保（例として）
  - ・遠くの親せき宅
  - ・安全な場所にあるペットホテル
  - ・ペットと一緒に泊まれる宿泊施設
  - ・安全な場所への車での避難

これだけは準備しておきたい！防災グッズと心構え

- トイレ・トイレシート・トイレ用砂  
などのトイレ用品



- 3日程度のエサ・飲み水と食器
- 療法食薬



- リード（伸びないもの）
- ゲージ・動物用キャリーバック



その他

- においのついたタオルなど  
ペットが落ち着くもの
- 好きなおもちゃ
- ブラシ・くし
- 新聞紙
- 洗濯ネット（猫の逃げ出し防止用）  
などがあると便利です

